

※敬称略

7月11日(土)						
会場	ゼ-504	ゼ-505	ゼ-506	ゼ-507	ゼ-502	ゼ-311
8:30-9:00	受付 (5階)					
9:00-10:15	山田 悠至 生々流転する形而上的自己 司会:城田 純平	秋丸 知貴 ヴァルター・ベンヤミンの複製美学 ——『複製技術時代の芸術作品』を中心に 司会:太田 陽	李 太喜 努力概念の分析によるリバタリアニズムの擁護 司会:鈴木 生郎	岡城 真代 伝達が成功するとはどういうことか ——グライス理論における基礎概念の検討から 司会:山崎 紗紀子	西川 耕平 ドゥルーズと権利の哲学——jurisprudenceを手がかりに 司会:鹿野 祐嗣	予備
10:20-11:35	織田 和明 九鬼周造と永遠の問題 ——「時間の観念と東洋における時間の反復」読解—— 司会:山田 悠至	浅賀 優磨 スピノザと合理主義——Martial Gueroultの『エチカ』解釈について—— 司会:藤野 幸彦	俵 邦昭 人の同一性と一人称視点 司会:鈴木 生郎	木下 頌子 人工物種名の指示について 司会:菊池 翔士	平田 公威 『意味の論理学』における人称の問題について ——「誰が話すのか」という問いを巡って—— 司会:西川 耕平	予備
11:35-12:20	昼食休憩					
12:20-13:35	多田 圭介 田辺元の自由論 —弁証法的自由の展開をめぐる 司会:城田 純平	沖田 千里 Rogersの人間論 司会:榎野 沙央理	中里 晋三 死の剥奪説における誕生の害について 司会:吉沢 文武	澤崎 高広 モラルディレンマとMarcusの提案について 司会:高橋 優太	鹿野 祐嗣 浅野 修平	鈴木 佑京 双側面説における調和の概念 司会:高田 敦史
13:40~	森永 駿 「開示性」から「存在論的真理」へ ——『存在と時間』と『根拠の本質について』に於ける真理論—— 司会:丸山 文隆	本林 良章 人間学的精神病理学——そのヴァリエティと共通立脚点 司会:榎野 沙央理	丸山 栄治 「無」についての考え方 ——形而上学的ニヒリズムの批判的検討を端緒として—— 司会:吉沢 文武	和泉 悠(発表者)、笠木 雅史、周 艶、小田 宗兵衛 実験哲学と言語哲学:確定記述と作られた文化的差異 司会:高谷 遼平	ワークショップ 60年代のドゥルーズ哲学における「発生」の概念をめぐって	予備
WS~14:20						
~14:55						
15:00-18:20	テーマレクチャー 精神医学と哲学 (於:ゼ-311) 石原 孝二 精神医学は何を対象としているのか? —精神医学の哲学と精神障害概念— 総田 純次 精神疾患の現存在と精神分析の現存在 立木 康介 応用精神分析と反哲学					
18:30-20:30	懇親会(カルチャー棟2F レストラン とき)					

※敬称略

7月12日(日)						
会場	セ-504	セ-505	セ-412	セ-413	セ-502	セ-503
8:30-9:00	受付 (5階)					
9:00-10:15	山下 智弘 マルティン・ハイデガーの超越論的 観念論と共同体の問題 司会:石井 雅巳	上田 唯吾 経験論と因果律 司会:長門 裕介		福井 誠人 一般確率論におけるベイズ主義的 解釈 司会:森田 紘平	菊地 建至 西條 玲奈 村上 祐子	白井 裕希 動物倫理をめぐる議論の中で対立 する直観をどのように扱うべきか 司会:金正旭
10:20~	堀松 辰彦 レヴィナス『実存から実存者へ』の文 法論的読解 司会:石井 雅巳	鈴木 亘 ジャック・ランシエールの美学におけ るイメージの問題——リオタール批 判から—— 司会:工藤 顕太		後藤 真理子 E.J.ロウにおける傾向的および生起 的分析の変遷 司会:富山 豊	加納 寛之 不確実の状況下での社会的意思決 定の原理の構築に向けて——道徳哲 学からの示唆—— 司会:太田 陽	ワークショップ 哲学系大学院~ PD/ODのサバイバルスキル
WS~11:00			WS~11:35			
11:35-12:35	昼食休憩					
12:35-13:50	岡本 かおり レヴィナス『存在の彼方へ』における 主体と認知症 司会:小野 和	霜山 博也 ハイデガーの時空間における粹組 みとしての〈物〉 司会:丸山 文隆	吉田 佑介 様相命題のtruthmakerは要請され るべきか 司会:高取 正大	白水 大吾 The Inconceivability of Three- Dimensional Semantics 司会:太田 雅子	岡本 慎平 『常識』的に考えて——十九世紀ス コットランドにおけるトマス・リードの 哲学とその帰趨 司会:萬屋 博喜	須賀 佳苗 「実践的信仰」と受当(仮)
13:55-15:10	小野 和 1950年代レヴィナスにおける「超越 論的な運動」と「形而上学」 司会:工藤 顕太	原 健一 ベルクソンの素朴実在論 司会:長門 裕介	川居 慧士 論理的多元主義とTruthmaker理論 司会:高取 正大	木村 謙太 Relevant Alternatives Theoryはどこ まで中立的か 司会:木下 頌子	川瀬 和也 ヘーゲル『大論理学』における「推 論」の意義 司会:木本 周平	渡邊 浩一 辻 麻衣子 金正旭 庄子 綾
15:15~	小林 嶺 エマニュエル・レヴィナス『全体性と 無限』におけるエロス論について 司会:小野 和	小川 歩人 ジャック・デリダにおける技術的・身体 性について 司会:横田 祐美子		小倉 翔 経験と推論原理——経験の規定と 証言による正当化をめぐる—— 司会:木下 頌子	野村 雄一 ヒポクラテス『神聖病について(De morbo sacro)』における神聖性につ いて 司会:城田 純平	ワークショップ 新カント派に還れ!
WS~15:55						
16:35-17:35	全体会(於:セ-502)					